

# 2013年3月期 第1四半期決算の概要



## 興銀リース株式会社

( 証券コード:8425 )

2012年8月3日

本資料には将来の予測数値が含まれております。こうした記述は、現時点における事業環境において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想値と異なる可能性がありますのでご留意下さい。

# I. 決算ハイライト

## 【2012年度 第1四半期決算概況】

### <損益状況>

○2012年度1Q決算は、大口貸倒引当金の計上により大幅減益

— 不動産関連アセットファイナンス向け32億円

○買収2社<sup>(注)</sup>の収益寄与もあり、基礎収益である「償却前の各段階利益」は大幅増加

— 償却前差引利益: 120億円(+38%増)、償却前経常利益: 55億円(+38%増)

(注)IBJL 東芝リース(株)、東芝医用ファイナンス(株)

### <営業状況>

○1Q契約実行高は全分野において順調に増加し前年同期比2.5倍の1,708億円

— 営業資産残高も1兆2,271億円(+158億円)と着実な積み上げ

### <通期業績予想>

○基礎収益の順調な推移を見込んでおり、通期業績および配当は当初予想通り

## 【第1Q決算】

(単位:億円)

	2010/1Q	2011/1Q①	2012/1Q②	増減額②-①	増減率
売上高	646	660	867	+207	+31.4%
売上総利益	81	75	102	+27	+37.0%
営業利益	42	41	18	▲23	▲57.1%
(信用コスト)	(7)	(▲3)	(35)	(+38)	(-%)
経常利益	42	42	20	▲22	▲52.6%
四半期純利益	22	25	9	▲16	▲64.9%

償却前差引利益	97	87	120	+33	+37.6%
〃 営業利益	49	39	53	+14	+36.3%
〃 経常利益	49	40	55	+15	+37.6%

契約実行高	811	667	1,708	+1,041	+156.0%
-------	-----	-----	-------	--------	---------

## 【通期業績および配当予想】

(単位:億円)

	2011/3実績	2012/3実績①	2013/3予想②	増減額②-①	増減率
売上高	2,561	2,701	3,500	+799	+29.6%
営業利益	154	107	150	+43	+40.3%
経常利益	159	111	155	+44	+39.3%
当期純利益	90	43	90	+47	+109.4%

1株当たり年間配当金	46円	48円	50円	+2円	
------------	-----	-----	-----	-----	--

## Ⅱ. 損益状況

### 【全体概要】

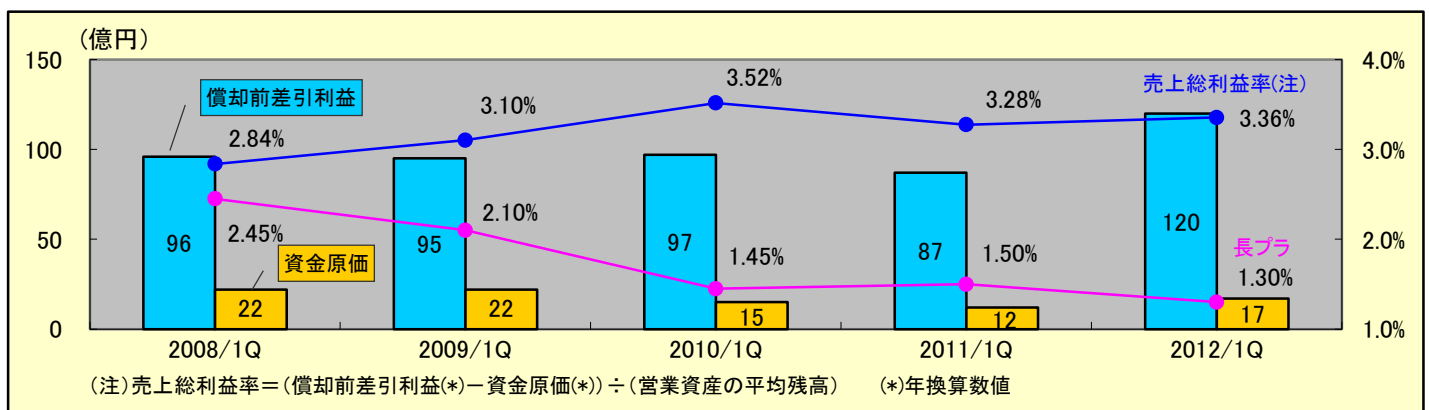
- 経常収入は順調に増加する一方、経常費用は大口引当負担により大幅増
  - 経常収入: 89億円 → 123億円 +34億円(差引利益: +33億円)
  - 経常費用: 47億円 → 103億円 +56億円(信用コスト: +38億円)
- 一般経費増加の大宗は買収2社の経費加算(+15億円)によるもの
- 信用コストの大宗は不動産関連アセットファイナンス向け
  - 以上の結果、経常利益は前年同期比▲53%減の20億円

(単位: 億円)

	2010/1Q	2011/1Q ①	2012/1Q ②	増減額 ②-①	増減率
<b>経常収入 (a)</b>	<b>98</b>	<b>89</b>	<b>123</b>	<b>+34</b>	<b>+37.7%</b>
償却前差引利益	97	87	120	+33	+37.6%
受取利息・配当	0	1	1	+0	+11.5%
連結持分法利益	1	1	1	▲0	▲33.4%
<b>経常費用 (b)</b>	<b>56</b>	<b>47</b>	<b>103</b>	<b>+56</b>	<b>+119.8%</b>
資金原価	15	12	17	+5	+41.1%
支払利息	1	1	1	+0	+7.4%
一般経費	32	36	49	+13	+37.7%
信用コスト	7	▲3	35	+38	—%
<b>経常利益 (a-b)</b>	<b>42</b>	<b>42</b>	<b>20</b>	<b>▲22</b>	<b>▲52.6%</b>
(償却前経常利益)	(49)	(40)	(55)	(+15)	(+37.6%)
<b>四半期純利益</b>	<b>22</b>	<b>25</b>	<b>9</b>	<b>▲16</b>	<b>▲64.9%</b>

### 【売上総利益率】

収益性重視の案件取組みにより、運用利回りは改善し売上総利益率も上昇(+0.08%)



## Ⅲ. 財政状態

### 【資産サイド】

○営業資産は前期末比+158億円増加(+1.3%)の1兆2,271億円

— 物融資産:8,559億円(▲115億円)、金融資産:3,711億円(+272億円)

(単位:億円)

	2011/3 末	2012/3 末 ①	2012/6 末 ②	増減額 ②-①	増減率
<b>物融資産</b>	<b>6,407</b>	<b>8,674</b>	<b>8,559</b>	<b>▲115</b>	<b>▲1.3%</b>
(リース)	(5,462)	(7,551)	(7,483)	(▲68)	(▲0.9%)
(割賦)	(945)	(1,122)	(1,076)	(▲46)	(▲4.1%)
<b>金融資産</b>	<b>2,879</b>	<b>3,439</b>	<b>3,711</b>	<b>+272</b>	<b>+7.9%</b>
(貸付)	(2,419)	(2,950)	(3,262)	(+312)	(+10.6%)
(営業投資有価証券)	(460)	(489)	(449)	(▲40)	(▲8.1%)
<b>営業資産</b>	<b>9,286</b>	<b>12,113</b>	<b>12,271</b>	<b>+158</b>	<b>+1.3%</b>
<b>総資産</b>	<b>10,280</b>	<b>13,330</b>	<b>13,434</b>	<b>+104</b>	<b>+0.8%</b>

### 【負債・資本サイド】

○有利子負債全体は前期末比+265億円増加の1兆1,600億円

— 引き続き低金利メリットを享受すべくCPを積極的に活用

○純資産は前期末比横這いの748億円

— 自己資本比率は前期末同水準の5.3%

(単位:億円)

	2011/3 末	2012/3 末 ①	2012/6 末 ②	増減額 ②-①	増減率
<b>長短借入金</b>	<b>5,173</b>	<b>7,216</b>	<b>6,948</b>	<b>▲268</b>	<b>▲3.7%</b>
市場調達	3,603	4,119	4,651	+532	+12.9%
(うちCP)	(3,273)	(3,731)	(4,233)	(+502)	(+13.5%)
<b>有利子負債</b>	<b>8,776</b>	<b>11,335</b>	<b>11,600</b>	<b>+265</b>	<b>+2.3%</b>
<b>純資産</b>	<b>694</b>	<b>747</b>	<b>748</b>	<b>+1</b>	<b>+0.0%</b>
(うち株主資本)	(687)	(712)	(712)	(+0)	(+0.0%)
<b>自己資本比率</b>	<b>6.7%</b>	<b>5.3%</b>	<b>5.3%</b>	<b>-%</b>	<b>-</b>

## IV. 営業状況

### 【契約実行高】

- 物融・金融分野共に大幅に増加し、全体では前年同期比2.5倍の1,708億円  
 — 大企業向け契約実行高は1,099億円と大幅な増加

(単位:億円)

	2010/1Q	2011/1Q ①	2012/1Q ②	増減額 ②-①	増減率
<b>物融分野</b>	<b>530</b>	<b>490</b>	<b>762</b>	<b>+272</b>	<b>+55.7%</b>
リース	448	417	629	+212	+51.0%
割賦	81	73	133	+60	+83.1%
<b>金融分野</b>	<b>281</b>	<b>177</b>	<b>945</b>	<b>+768</b>	<b>+432.7%</b>
貸付	222	175	941	+766	+438.0%
営業投資有価証券	59	3	4	+1	+68.0%
<b>合 計</b>	<b>811</b>	<b>667</b>	<b>1,708</b>	<b>+1,041</b>	<b>+156.0%</b>
(大企業向け)	(395)	(305)	(1,099)	(+794)	(+260.0%)

(参考)リース取扱高(2012年4~6月):前期比9.1%増(リース事業協会発表)

### 【物融分野の状況】

- 物融契約実行高は各機種共に順調に増加し前年同期比+56%増の762億円
- ・産業工作機械:大口設備投資案件の捕捉もあり取扱高は大幅に回復
  - ・輸送用機器:復興関連に加え「エコ補助金」制度等による入替需要が増加
  - ・土木建設機械:中国では需要減少するも国内は復興関連を含め引き続き堅調
  - ・情報通信機器:IBJL 東芝リースの寄与によりベンダーファイナンス案件が増加
  - ・医療機器:大手メーカーとの連携営業が奏功

### <物融分野の機種別契約実行高>

(単位:億円)

	2010/1Q	2011/1Q ①	2012/1Q ②	増減額 ②-①	増減率
産業・工作機械	140	104	219	+115	+110.6%
輸送用機器	68	53	90	+37	+68.1%
土木建設機械	45	58	72	+14	+24.6%
情報通信機器	111	134	151	+17	+13.1%
商業・サービス業用機器	70	57	77	+20	+35.2%
医療機器	24	27	52	+25	+90.1%
その他の機種	72	56	101	+45	+80.2%
<b>合 計</b>	<b>530</b>	<b>490</b>	<b>762</b>	<b>+272</b>	<b>+55.7%</b>

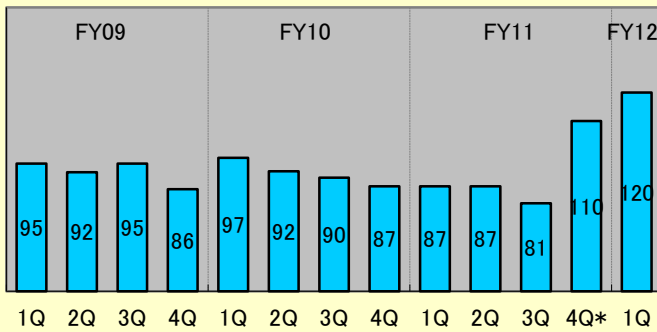
以上

## (参考) 四半期別損益の推移

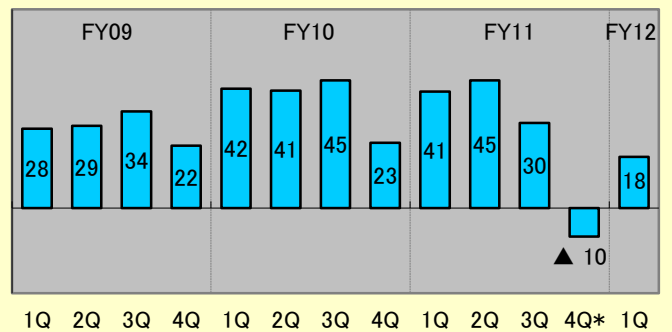
(単位: 億円)

	FY09				FY10				FY11				FY12
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
償却前差引利益	95	92	95	86	97	92	90	87	87	87	81	110	120
資金原価	22	18	17	15	15	14	13	12	12	11	11	18	17
売上総利益	73	74	78	71	81	78	77	75	75	76	70	93	102
営業利益	28	29	34	22	42	41	45	23	41	45	30	▲10	18
経常利益	28	35	35	24	42	44	47	22	42	50	31	▲12	20
(実質信用コスト)	(13)	(14)	(14)	(16)	(7)	(5)	(▲4)	(13)	(▲3)	(▲2)	(7)	(57)	(35)
四半期純利益	16	22	18	14	22	26	30	12	25	28	20	▲30	9

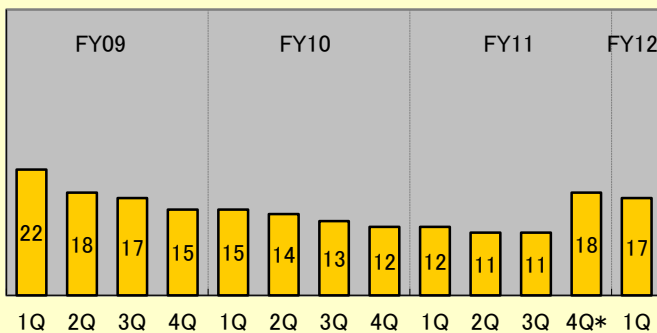
【償却前差引利益】 (億円)



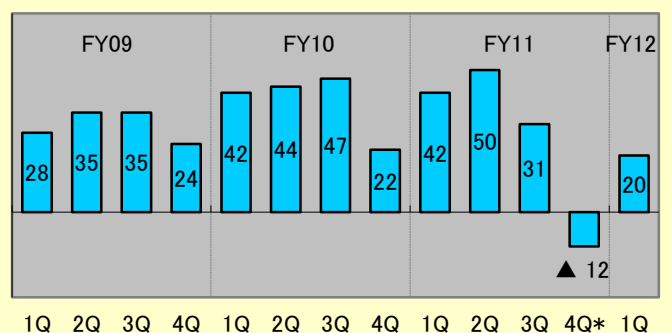
【営業利益】 (億円)



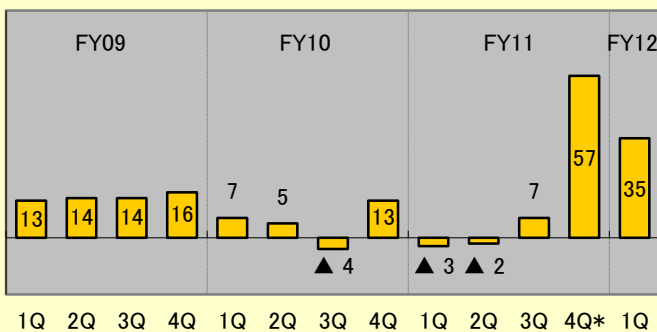
【資金原価】 (億円)



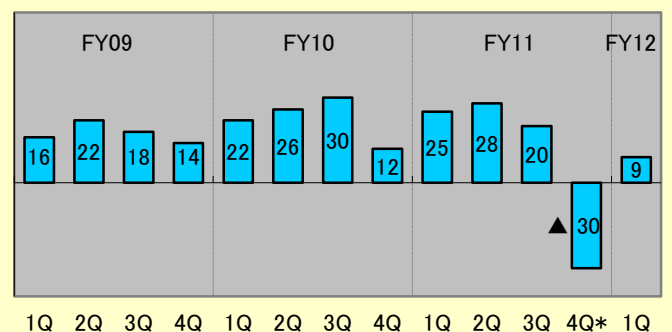
【経常利益】 (億円)



【実質信用コスト】 (億円)



【四半期純利益】 (億円)



(\*) 2012年2月1日付でIBJL東芝リース株、東芝医用ファイナンス株を連結グループ化